



春めく気分もそこそこに、あっという間に東京の桜は満開。初夏のような陽気です。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

今回の写真は、ハナネコノメです。03/12「毎週歩く高尾山-3月/1」での一枚です。狙い通りにハナネコノメをたくさん見ることができ、木下沢梅林では満開の梅のお花見ができました。翌週の高尾山の6号路でもハナネコノメの群落がちょうど見頃で、今年の3月はハナネコノメ祭りでした。余談ですが、つい『日本のネコノメソ』（著者：いかりまさし）と言う図鑑を買ってしまいました。あまりの内容の濃さにノックアウトされています。

さて大変遅くなりましたが、5月の確定表をお送りします。5月のトップは、大菩薩で“花活”です。昨年はハズレでしたが、今年こそバイカオウレンの群生を見てみたい！というわけで、アプローチにタクシーを使う大胆プランです。入笠山のイチヨウランは、他では中々出会えないので楽しみです。貴重な花といえば、赤城自然園です。山ではありませんし、入場料もかかります。その代わりに簡単には出会えない花がここでは気楽に見られます。この季節なら、シラネアオイやヤマシャクヤク、オオヤマレンゲなどが期待できます。いつもの高尾山は、いよいよランの季節です。昨年の5月の高尾山は行程が長すぎました。今年は最短コースで大垂水峠から歩きます。大垂水峠を通るバス路線が廃止されたのでタクシーでアプローチします。最後は趣を変えて、昇仙峡の羅漢寺山です。山登りです。大きな岩の山頂からの大展望が楽しみです。

ところでイラン戦争です。国力や軍事力が優位性を背景に、暴力で相手をねじ伏せようとしている無体な状況となっています。戦争をやめたくないイスラエルのネタニヤフ首相とイランの石油を手に入れたいアメリカのトランプ大統領は、いまやロシアのプーチン大統領と並んで世界のリスクとなっています。2つの世界大戦を経て戦争ではなく話し合いでの解決を目指して誕生した国連は、いまや風前の灯です。このまま、世界は弱肉強食の時代に突入していくのでしょうか。そんな危機感を感じる今日この頃です。それにしても憲法9条改定論者の高市首相、その9条に助けられましたね。「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とした日本憲法第9条の条文が、ますます光を放っているように感じています。

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！